

# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和8年4月検出分 検体採取 令和8年3月及び4月)

令和8年5月15日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体53件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

### ○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A型及びB型、パラインフルエンザ1-4、RS-A型及びB型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナNL63、コロナOC43

### ○検査対象（細菌）

マイコプラズマ

### ○検出結果

53件中36検体(68%)から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：19件、ボカ：5件、ヒトメタニューモ：1件、RS-A型：4件、RS-B型：2件、アデノ：1件、インフルエンザB型：6件、コロナNL63：2件、コロナOC43：7件であった。令和8年1月から令和8年4月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり(ただし、検出件数は重複検出を含む。)

表1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和8年1月～4月検出分）

年齢	病原体年齢別検出数（4月検出数/累積）														合計	
	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≤			
標本数	24	100	2	10		8	4	23	11	30	9	41	3	19	53	231
ライノ	13	50	2	3			1	6	1	2	2	6		1	19	68
ボカ	4	9	1	1											5	10
ヒトメタニューモ		1					1	1							1	2
RS-A	2	4									1	2	2	2	4	7
RS-B	1	4							1		2	1	4	2	2	11
SARS-CoV-2		3							2		9		5			19
パラインフルエンザ1																
パラインフルエンザ2																
パラインフルエンザ3		1														1
パラインフルエンザ4				1												1
アデノ		11									1	1			1	12
エンテロ																
インフルエンザA型		6		2		2		3		3		2		1		19
インフルエンザB型		3		4		4	2	4	2	3	2	5		1	6	24
コロナNL63	2	7								2		1			2	10
コロナOC43	5	19						4	1	5	1	5		1	7	34
マイコプラズマ								1								1
検出せず	7	16		1		2		5	7	12	3	11		4	17	51

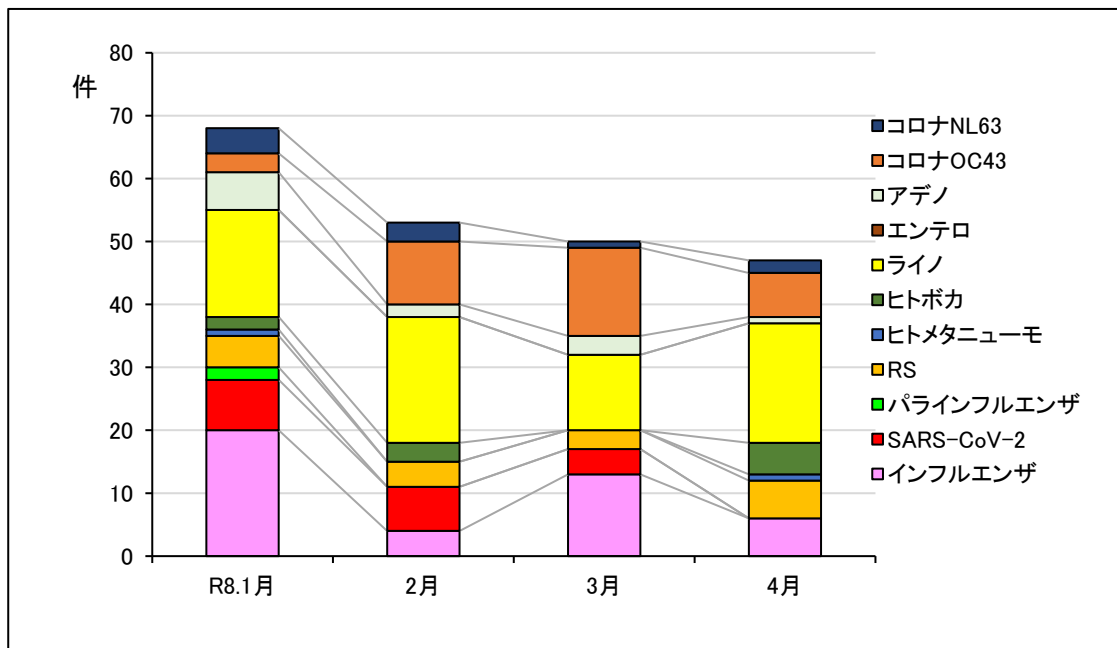


図1. 急性呼吸器感染症の月別ウイルス検出状況 (令和8年1月～4月検出分)

アデノウイルスの1件は、F種41型であった。F種41型は、胃腸炎の原因ウイルスであるが、この患者は発熱と咽頭痛のみで胃腸炎症状はなく、また、Ct値も35以上と高く偶発的な検出であると考えられた。

インフルエンザB型6件はすべてビクトリア系統であった。

## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の29件について検査を行ったところ、ノロウイルスGIが1件、GIIが15件検出された。遺伝子型はGIがGI.P2-GI.2、GIIがGII.P16-GII.4が8件、GII.P17-GII.17が1件、GII.4(ポリメラーゼ領域型不明)、ポリメラーゼ領域及びカプシド領域いずれも型不明が2件であった。アデノウイルスは感染性胃腸炎の原因ウイルスとされるF種41型が3件検出された。この他サポウイルスが6件、アストロウイルスが1件検出された。

## 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の14件について検査を行ったところ、A群溶血性レンサ球菌が7件(T型別3型:2件、T型別4型:2件、T型別B3264型:3件)分離された。3型、4型、B3264型は咽頭炎で多くみられる型である。

## 4 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の4件について検査を行ったところ、A型が3件検出された。症状は咳嗽、鼻汁で、呼吸困難などの重症例はなかった。

## 5 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の3件について検査を行ったところ、エンテロウイルス(ライノウイルスは含まず)、アデノウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルスのいずれのウイルスも検出されなかった。